

<その他、取組に特徴のある事例>

○連帯感の醸成による集落農地の維持

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛知県岡崎市 <small>おかざきし</small> 山網 <small>やまつな</small>			
協定面積 2.3ha	田 (100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金額 48万円	個人配分			47.6%
	共同取組活動 (52.4%)	鳥獣害対策		42.4%
		水路・道路等の管理 役員報酬 (H21年度実績)		5.7% 1.6%
協定参加者	農業者 8人			開始：平成13年度

2. 取組に至る経緯

将来的に集落内の高齢化が進むと、農用地の維持管理が困難になることが懸念されるため、地区の実情にあった農業生産体制の確立を目標として、集落協定を締結した。

3. 取組の内容

- ・定期的な水路の清掃・農道等の草刈（協定による共同作業）
- ・周辺林地の下草刈（協定による共同作業）
- ・鳥獣害対策として設置した電気柵の維持管理
- ・耕作継続が困難な農地が発生した際のサポート体制の確立



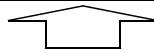
【法面管理、道路幅員確保、周辺林地草刈り】



【電気柵の維持管理】

[集落の将来像]

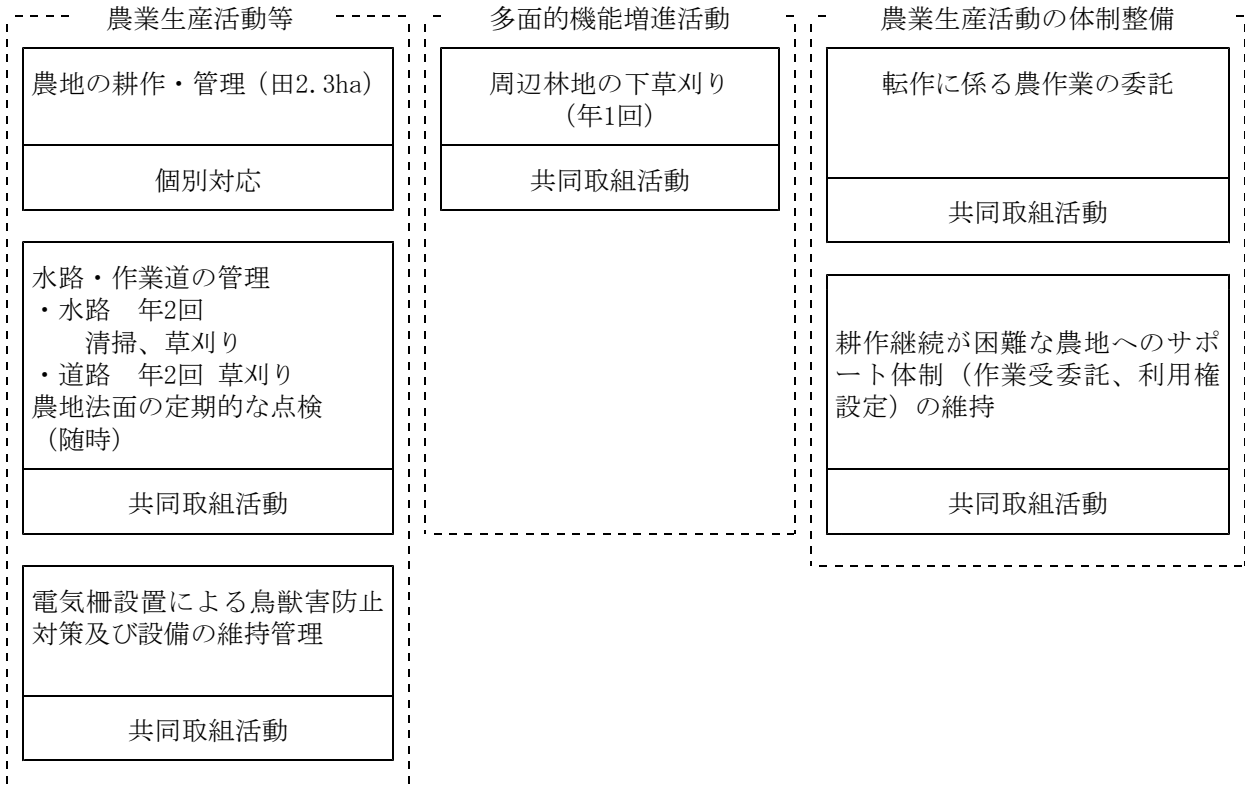
- ・将来的に集落内の高齢化が進むことにより、耕作放棄地が発生するの可能性が今後も一段と心配される。共同作業の機会を通じて集落内の連携を向上させ、高齢化の進展にあわせた農業生産体制を維持、整備しながら、農用地を今と変わらないよう確保する。



[将来像を実現するための活動目標]

- ・定期的な共同作業の機会を通じて集落内の連携を向上させ、集落の実情にあった持続的な農業生産体制を維持、整備し、現在の農用地の減少を防ぐ。

[活動内容]



4. 今後の課題等

- ・協定に基づき、水路の清掃、農道等の管理、周辺林地の下草刈などの共同作業を定期的実施したことで、集落内の話し合いが活発となり、連帯感が向上した。
- ・今後は、耕作継続が困難な農地へのサポート体制を更に充実させ、地域内外の担い手等への利用権設定、作業受委託による耕作維持を進める。

[第2期対策の主な成果]

- 電気柵設置による鳥獣害対策の実施
- 周辺林地の下草刈、水路の清掃、農道の管理
- 休耕地の保全管理
- 集落内の連帯感の向上
- 耕作継続が困難な農地へのサポート体制の確立